

せったん

第190号 2021年3月25日

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部ニュース



「新型コロナウイルス感染予防のため常備しているスタッフの個人防護具」については、

支部アンケート結果

半数超「空間・時間分離して発熱患者診療」

北摂・丹波支部は年末・年始に、新型コロナウイルス感染症診療についての情報交換を目的にアンケートを実施。27医療機関(回答率14・5%)より回答を得た。アンケートでは、医療機関が常備しているフェイスガードやガウンなどの感染防護具の割合や、半数超の医療機関が発熱患者を断らずに診察していることなど、それぞれの医療機関での様子が明らかとなった。アンケートの概要を紹介する。

診療に当たっていることが確認された。

「新型コロナウイルスを疑う患者(発熱患者等)への対応」(複数回答)については、「電話またはインターフォン越しに話をして必要な対応を行い、要すれば薬を処方している」が37・0%、「別の時間帯に診察している」が29・6%、「待合室などで動線を分けられるので通常通り診察している」と「最初から断っている」がとも初から断っている」がとも25・9%(図3)となるなど、動線分離等の問題は

ありつつも、全体の7割を超える医療機関で、発熱患者に対して必要に応じた対応を実施していた。特に、内科・小児科を標榜している医療機関では、「最初から断っている」との回答はゼロであった。また、発熱患者に必要な対応を行って

いる医療機関に、「スタッフによる患者さんへの説明・問診・診療介助などの対応」について尋ねたところ、85・0%が「対応している」と回答した。

「患者さんが希望する調剤薬局への電話連絡」については、「連絡している」が51・9%、「連絡していない」が22・2%、「院内処方である」が14・8%となつた。「疑いが濃い場合のみ連絡する」との回答もあった。

「新型コロナウイルスを指定感染症・2類相当から修正すべきと考えるか」については、「経過を見て解除すべき」と「直ちに解除すべき」が計62・9%と「このままでよい」の25・9%を大きく上回つた。

裏面に記述式回答欄に寄せられた意見を紹介する。

図1 標榜科について

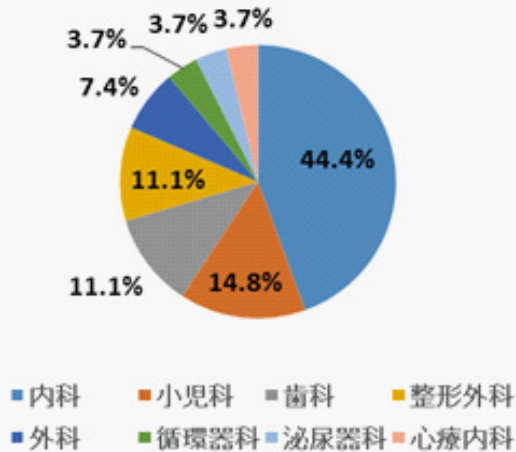


図3 発熱患者の対応について

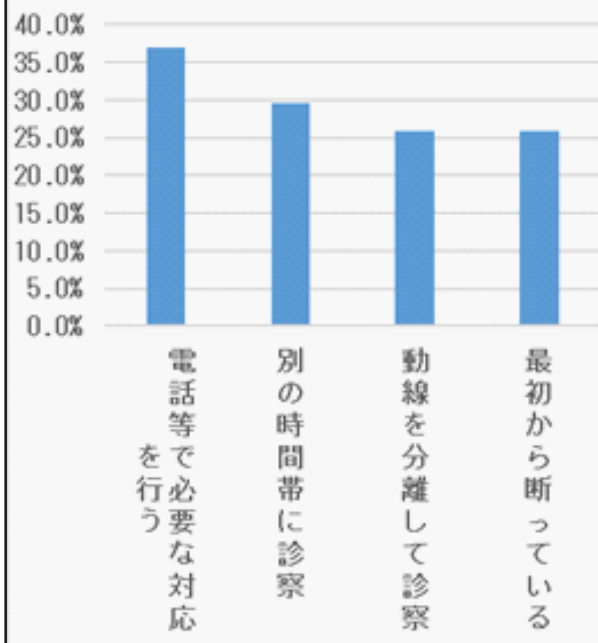
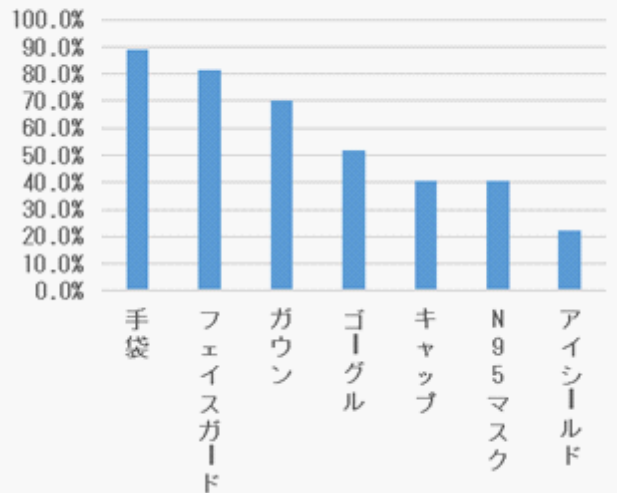


図2 使用している防護具について



発熱患者の診療

「空間・時間の分離困難」の声も

アンケート記述式回答を紹介

問 「発熱等診療・検査医療機関」の指定を受けましたか

「受けた」

- ・ 以前より新型コロナウイルスの抗原検査、PCR検査(検査会社へ委託)を実施できるように準備してきたため
- ・ 発熱があるという理由で診療を断るのはどうかと思う。検査はしていない
- ・ 発熱患者増加を踏まえ、地域の診療所として住民の健康を守り、感染拡大を防ぐため
- ・ 自院かかりつけ患者の発熱に対応できるように
- ・ 周りに検査機関が少ないようだったので

「受けていない」

- ・ スタッフがコロナ疑い患者の来院を拒否する
- ・ 空間分離、時間分離できない
- ・ 家主からの要望
- ・ 感染を主に診る科ではないため

問 発熱患者の扱いについて病院・診療所、薬局、保健所と問題になったこと

- ・ コロナ検査を実施した患者のかかりつけ薬局に、これから患者さんが薬を取りに行くことを、電話で伝えたところ、あらかじめ患者情報をくわしく伝えてから依頼するように要望があった

- ・ 陽性が出たが土曜のため保健所への連絡先がすぐに分からなかった

問 新型コロナへの対応について、患者さんやそのご家族からの意見・クレーム

- ・ 高齢で摂食障害と高熱がある患者に病院紹介するも、当院で見てくださいとクレームを言われた
- ・ 入院患者さんとの面会を制限しており、ほとんどのご家族はご理解いただいているが、一部の方からはご不満の声をいただいている (病院)

問 先生は新型コロナを指定感染症・2類相当から修正すべきと考えますか

- 「直ちに解除すべき」
- ・ 病院のベッドが足りない

- ・ 軽くなって医療崩壊が起きてしまう。ハイリスク患者だけ入院として、軽症の人は外来加療にする
- ・ ほとんどの陽性者は症状が軽いか無症状。病院や隔離施設に入院させて看護師に管理させると医療崩壊します

「経過を見て解除すべき」

- ・ 予防接種がいきなり集団免疫がついた段階で解除すべき
- ・ 入院やホテル療養には数の限界があると思う

「このままでよい」

- ・ 重症化する人もかなりおり、少なくとも直ちに解除すべきではないと思う
- ・ 感染コントロールを続けられないと重症者に対する医療体制を維持することが難しくなる

(一部抜粋)

第326回支部幹事会より



3月11日(木)19時～ 於 三田市キッピーモール6階会議室5
参加 5人

◆情勢では新型コロナウイルスワクチンの三田市での接種状況を確認した。今後の予定として、在宅点数対策研究会の申し込み状況を確認した。オンライン資格確認のためのマイナンバーカードリーダーの導入について意見交換した。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。

お問い合わせは、Tel 078-393-1807 F A X : 078-393-1802

E-mail : kuriyama-h@doc-net.or.jp

担当事務局 : 栗山まで

支部ニュースへの投稿を募集しています



支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1807 / FAX 078-393-1820

e-mail kuriyama-h@doc-net.or.jp 担当 ; 栗山まで

開業医手作り
月替わり健康情報

健康情報テレホンサービス

☎ 0120-979-451



4月のテーマ

- 月曜日 川崎病とは
- 火曜日 最近の矯正歯科治療あれこれ
- 水曜日 肩関節の脱臼
- 木曜日 胃・十二指腸潰瘍
- 金土日 双極性障害とは

※29日(木・祝)は水曜日のテーマを放送します

5月のテーマ

- 月曜日 流行性角結膜炎(はやり目)
- 火曜日 お薬の正しい飲み方
- 水曜日 心筋炎とは
- 木曜日 難聴あれこれ
- 金土日 脱毛症について

※3日(月・祝)～5日(水・祝)は金土日のテーマを放送します